

約60人がCPDS講習会を受講

三重建設協鈴鹿支部

三重県建設業協会鈴鹿支部(田端泰夫支部長)は6月29日、鈴鹿市内でCPDS講習会を開いた。支部会員企業の技術者ら約60人が受講し、3日間で合計20ユニットを取得した。写真。今回の講習では「i-

Construction
n土工の流れ」をテーマに、3次元起工測量(UAV測量)や観測システム、ICT活用工事の発注の条件などについて説



明が行われた。

講習会は、同支部が測量機器販売のトプラス(四日市市)に講習支援の依頼をして実現。トプラスのエンジニアポジショングジャパン(四日市市)の他、福井コンピュータ、ネムコ・ジャパン、テクノ、計測ネットサービスが協賛し、講義と実機体験などをサポートした。同講習会は全3回で構成しており、7月13日と8月3日に開催する。